

J-STAGE 中長期ビジョンの策定に係るこれまでの取組について

1. J-STAGE 意見交換会(2017年12月13日)

- ・ 事業方針の検討・策定に関して助言を得ることを目的とする J-STAGE アドバイザリー委員会の設置に先立ち、J-STAGE に関する課題を洗い出し及び委員会の設置方針決定に役立てることを目的として、懇談会形式で外部有識者と議論する意見交換会を開催。
- ・ 学術コミュニケーションにおいて、J-STAGE が備えるべきと思われる機能・サービスを抽出するとともに、J-STAGE アドバイザリー委員会の委員候補者を抽出した。

2. J-STAGE アドバイザリー委員会(2018年3月9日、第1回)

- ・ J-STAGE の事業運営について、見直し及び強化に資する意見等を得ることを目的として、外部有識者による委員会を設置。
- ・ 学術情報発信・流通促進のステークホルダーである J-STAGE 利用機関、大学図書館、ジャーナル出版に関して知見を有する者等により委員を構成している。
- ・ 本委員会において、学術出版やその母体となる学協会を含めた学術情報発信・流通促進に関する現状について整理を行った上で、J-STAGE のあるべき姿や将来像について議論を行い、J-STAGE 中長期ビジョンを取りまとめる。
- ・ J-STAGE 中長期ビジョン骨子案を中心に議論を行った。

3. J-STAGE 利用機関懇談会(2018年6月6日)

- ・ 商業出版社による学術誌出版が隆盛する状況において、学協会による学術誌について発行主体である学協会が今後どのように在りたいと考えているのか把握するため、J-STAGE 利用機関の会頭あるいは英文ジャーナル編集委員長と意見交換する懇談会を開催。
- ・ 学協会がジャーナル出版で重要と考えている事項の確認、J-STAGE 中長期ビジョン(骨子)で掲げている個別事項に対する意見など、J-STAGE の今後の運営の検討に資する情報を収集した。

以上